

令和5年度 学力スタンダード指導計画・報告書

教科：(国語)科目：(現代文B) 対象：(第3学年1組～8組)

教科・科目の指導目標	大学入試に向けての基礎力としてはもちろん、社会常識としての国語の能力を育成するために、語彙力、論理的思考力、および論理的な読解力・発信力の向上を図る。
------------	---

	前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<p>1月進研模試の結果では、評論読解の平均得点率が36.8%、小説読解の平均得点率が55.5%であった。</p> <p>校内の平均得点率は全国平均を上回っており、小説読解については1年間を通して得点率は上昇している。</p> <p>以上から、全体の構造を意識した読解力訓練は確実に上がってきていると考えられる。</p> <p>今年度はその確実な定着を目指し、構造理解やより本文の表現に即した内容理解を評論・小説・韻文などの分野においても図ることが必要である。また、さまざまなテーマへの包括的な理解を深められるよう、読書等の指導が必要である。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 継続して反復練習をすることで、漢字力の定着を図る。 2 語句や漢字を調べる習慣を身につけさせることで、語彙力の向上をはかる。 3 評論の読解力育成を中心的学習事項として位置づけ、論の展開の型を意識させて、読解力の向上とそれを応用した発信力の向上をめざす。 4 構造を踏まえた小説理解力を伸長する。 5 他者の話を聞き、他者の意見を尊重する態度を育成する。 6 読書や新聞等から現代社会をめぐるさまざまな問題に気づき、自己の意見を表現する力を育成する。 	<p>教科会にて、下記の指導方針を確認する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 毎週定期的に漢字の小テストを実施して、反復継続的な指導を行う。 2 プリント等を活用して予習内容を明確にするとともに、テーマや構造を意識した読解力の向上をはかる。 3 グループワークによる話し合い活動と発表活動を行う。 4 構造を踏まえた小説世界の読解力の向上をはかる。